



# 明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

111号 令和3年7月  
発行：明石市ボランティア連絡会  
編集：広報部 編集委員会  
明石市貴崎1丁目5番13号  
明石市立総合福祉センター内  
TEL・FAX 078-924-9112

## 万全のコロナ対策で合同会議 令和3年6月5日 今まで通りでない合同会議を終えて



坂口会長

毎年開催している交流会の趣旨が参加された皆さんに理解され、各地域の方々に正しく伝達し、ボランティア同士のつながりの必要性や交流会の大切さを確認するため、年度初めに合同会議を実施しています。

昨年はコロナという災害に襲われ中止しましたが、今年はコロナ禍でもできる交流会を目指し、今まで通りでない合同会議を考えました。初めて二部制にし、講師永坂様の講話で勇気をもらい、グループワークは内容を絞り、短時間で切り上げる等々。コロナ禍でも工夫してできる新しい交流会を皆様とともに考え取り組んでいきたいと思ひます。



藤原卓也課長

一人ひとりの工夫で活動が戻ってきました。更につながりを深めましょう

顔の見えるネットワーク作り

『ほっとけない』『何とかしよう』これが福祉の力になります

永坂美晴講師

校区担当ボランティア合同会議

# コロナを克服、知恵と工夫を活かしレベルアップ

## PDCA\*サイクルでクラスターに対処 あかねが丘学園ボランティア会の県立がんセンターグループ：代表 岩崎三彌木

4月11日（日）に県立がんセンターでクラスター発生  
の報道があった。私達は前日の花壇管理のボラン  
ティアの際に聞いていた。この身近な出来事に驚  
いたが、あかねが丘学園の指導の下、昨年6月か  
ら準備してきたPDCA\*サイクルを活用した①～⑤  
（図参照）の感染対策が活きて冷静に対処でき  
た。①事前協議書作成：訪問先の意向に沿った三  
密・飛沫感染対策、マスク等の個別対策等作成と  
学園承認②三密対策や飛沫感染対策など約20  
項目のチェックシート添付の活動計画書と学園承  
認③花壇管理作業④活動後に反省点を記入し報  
告書を提出⑤グループ討議で知恵と工夫。この  
PDCA\*サイクルでレベルアップを図る。この手法  
はコロナ克服後の活動にも活かしていく。



## 神秘的なウミガメの保護 ボランティア・アカシウミガメ保護研究会の坂平高志さんにZoomで取材しました：広報部 岩崎三彌木

『ウミガメの産卵を見た事ありますか？2万kmの旅を経て数年後に故郷の明石の浜へ、神秘的で、涙が出るほど感動しますよ』との坂平さんの言葉。19年前に12人で活動を開始したとのこと。「ウミガメの声を代弁し、守ってあげたい！」という素朴な願いが動機だった。特にウミガメが誤って食べしまうレジ袋やプラスチックゴミが心配。産卵前の海浜お掃除会や青少年育成の一助になればとのPRや教育活動等をしてきた。コロナ禍の中でZoomを使って、タブレットPCが配布された児童に自然環境保護の思いを伝えていきたい。SDGs\*の先駆けとしての意気込みを感じた。



ウミガメの産卵

## 絵本は魔法使い！ よみきかせ「はとの会」代表 菅原 尚子さんにインタビュー：広報部 岩崎三彌木

「絵本は魔法使い」「穏やかな優しい心の子供に」「本を大好きになって！」「笑顔の子ども達に出会えたことは人生の宝物」等など。子ども達への感動のメッセージが散りばめられた『はとの会』の発足20周年記念誌（下図）。前身の「はと文庫」から30年余の歩みの間に文科大臣賞・県くすのき賞・市福祉功労賞と額が並ぶ。コロナ禍でデジタル化が進んでも読み聞かせのアナログ的“心と心が触れ合う場”の大切さの再発見。また活動回数減少の為、訪問先との絆強化と会員のモチベーション向上を狙って、今回の20周年記念誌を発行することになったとのこと。最後に「子ども達に絵本の楽しさと想像の世界を広げるお手伝いを！」との代表の力強い言葉でした。



\*: Plan・Do・Check・Actionの略、計画・実行・評価・改善を繰り返して仕事の質向上を図る為の国際規格ISOと日本工業規格で規格化されている手法。\*: SDGs（持続可能な開発目標）2020年7月17日に国から明石市は県内初となる「SDGs未来都市」に選定された。

# コロナ禍の中 元気に活動するグループ紹介

## 30周年を迎えて ボランティア和の会 会長 久保登喜子

この度、地域ボランティア「ボランティア和の会」が結成30周年を迎えることとなりました。

平成3年「和の会結成総会」を開催。当時は、ひとり暮らし高齢者の給食活動が中心でした。平成7年1月に阪神淡路大震災が発生し、上が池公園仮設住宅での「ふれあいの集い」にも参加。平成10年には、明石市立野々池中学校の「トライやる・ウィーク」の受け入れを。この活動は会員のための「トライやる・ウィーク」でもあると思っています。30年と長きにわたり活動を続けてこられたのは、会員の皆さんの地域福祉に対する理解と協力があったからこそ、讃えたい思いでいっぱいです。



30周年喜びの集合写真

## 楽しみな朗読ボランティア養成講座 明朗会 櫻江由紀子

明朗会では視覚障害を持つ方に「広報あかし」「奥様手帳」「暮らしの手帖」「声の宅急便」「市視協だより」市の委託物等を録音しCDに仕上げ送付しています。コロナの影響は明朗会も例外ではなく昨年の朗読ボランティア養成講座はコロナ禍で中止。今年は6月7日からの予定に多少の延期はあったものとても期待しています。当初は軽い気持ちで受講した方も日を迫うごとに言葉や文字への関心が増し、修了日の発表ではしっかり表現できるようになっているのが毎回の嬉しい驚きで、指導する側の我々もよい刺激を受けています。明朗会も活動人数が減りつつある中、一人でも多くの方に入会して頂き、明朗会の名称通り明るく朗らかに活動していきたいと思っています。



講座風景

## コロナにも負けず！ あかし要約筆記サークル 代表 松長美保子

あかし要約筆記サークルは、昨年30周年を迎えました。コロナ禍で盛大にお祝いすることはできませんでしたが、記念冊子を発行し、改めて歴史を振り返りました。また、ホームページを開設して情報発信や啓発活動なども行っていますので、「あかし要約筆記サークル」で検索してみてください。コロナ禍で、イベントなどの中止も相次ぎ、要約筆記の機会も減っていますが、中途失聴・難聴者の方への情報提供の担い手として新しい要約筆記の方法も探ってきました。最近の例会・学習会ではZoomも活用し、会員相互の交流や要約筆記技術の研さんを続けています。



定例会風景

## 明石市ボランティアセンターだより

# 令和3年度 県民ボランティア活動助成

助成金を受ける場合は、市社会福祉協議会でエントリー(事前申込)が必要です。

- ・ エントリー受付期間 : **令和3年7月1日(木)~8月31日(火)**
- ・ 助成金交付申請書受付期間 : 令和3年11月1日(月)~令和4年4月1日(金)
- ・ 助成金額 : 上限30,000円(申請数によって交付額が変動)

~助成の対象~

- ・ 兵庫県内の法人格をもたないボランティアグループ・団体
- ・ 市区町の社会福祉協議会に登録しているボランティアグループ・団体
- ・ ボランティアグループ・団体の構成人数が5人以上など...

ご自身、そしてかけがえない仲間、参加者の安全を確保するため、活動時の感染対策の徹底をお願いします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で申請条件が変更されています。  
エントリー(事前申込)時に詳細を添付させていただきます。

※詳しくはひょうごボランティアプラザのHPへ → <https://www.hyogo-vplaza.jp/>

## ボランティア養成講座のお知らせ

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| おさらいの手話(手話言語)<br>ボランティア養成講座 | 日時:7月24,31日 8月7,21日(土) 10-12時<br>場所:総合福祉センター 募集期間:6月21日~7月16日  |
| 音声訳<br>ボランティア養成講座           | 日時:9月2,9,16,30日 10月7日(木) 10-12時<br>場所:総合福祉センター 募集期間:8月2日~8月26日 |
| 外出支援(車いすコース)<br>ボランティア養成講座  | 日時:9月14,21,28日(火) 14-16時<br>場所:ふれあいプラザあかし西 募集期間:8月20日~9月7日     |
| 手話ボランティア<br>養成講座            | 日時:10月2,9,16,23日(土) 10-12時<br>場所:ふれあいプラザあかし西 募集期間:9月1日~9月24日   |

※延期や中止、日時が変更になる場合があります。

**【全講座定員があり、募集期間内での先着順となります。お申し込みは下記までご連絡ください。】**

【申込み・問合せ】明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係(明石市ボランティアセンター)

明石市貴崎1丁目5番13号 明石市立総合福祉センター内 (業務時間) ※土日祝、年末年始除く  
電話:078(924)9105 FAX:078(924)9109 8:55~17:40

### 【編集後記】

コロナ禍で密にならないように二部制で合同会議が行われましたが、グループワークでは難しい事もありました。コロナ禍でサークル活動も難しいのでZoomで研修をしたり、訪問先やサロンの人たちとの絆が薄れてしまうのではないかと心配で、近くの公園を少人数で散歩をしたりしました。



令和3年度広報部一同